

南地域まちづくり

第97号
令和3年8月1日発行
かわら版

自分の命は自分で守る！

5段階の警戒レベルで災害発生の危険度と、自分のとるべき避難行動を理解するための情報です。もう一度家族で確認しておきましょう。

■ 警戒レベル 1	災害への心構えを高めてください。
■ 警戒レベル 2	ハザードマップなどで、避難場所、避難経路、避難のタイミングの再確認など、避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。
■ 警戒レベル 3	避難に時間がかかる高齢の方や障がいのある方、避難を支援する方などは危険な場所から安全な場所へ避難しましょう。
■ 警戒レベル 4	対象地域住民のうち、危険な場所にいる人は全員速やかに避難しましょう。
■ 警戒レベル 5	“命の危険。直ちに安全確保” 既に災害が発生しているかいつ発生してもおかしくない状況で、命が危険な状況です。直ちに安全な場所で命を守る行動をとってください。



※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
**警戒レベル5緊急安全確保の
発令を待つてはいけません！**

避難勧告は廃止されます。
これからは、
**警戒レベル4避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。**

避難に時間のかかる
**高齢者や障がいのある人は、
警戒レベル3高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。**



熱中症を防ぐためにマスクをはずしましょう 但し ウイルス感染対策は忘れずに！

(1) マスクの着用について

高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずしましょう。

(2) エアコンの使用について

冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちです。エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。



(3) 涼しい場所への移動について

少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動しましょう。

(4) 日頃の健康管理について

暑さに備えた体づくりと、適度な運動、定時の体温測定と健康チェックをすることで、発熱に早く気づくこともできます。日ごろから自分の身体を知り、健康管理を充実させましょう。

南地域のたからもの vol.45 ～ 植松の丘～

大口中学校が統合される以前、昭和51年（1976）に建立した「立志の塔」。そこには「青春の一日一日が共にあったここ植松の丘…」とあります。この「植松の丘」とは何でしょう？

大口中学校がある場所は、元々の地名が「植松」と呼ばれていました。そして北側の竹田や余野から見ると、中学校は一段高い位置に建っており、これが「丘」と言われている所以です。

この段差は大昔に木曾川やその支流などの河川によって形成された河岸段丘で、現在でも下小口の白山ふれあいの森から大口中学校へと続く段差を見ることができます。大口中学校東の交差点（町民会館の交差点）から北へ進むと、なだらかに坂を降っていますが、まさにこの坂が河岸段丘の段差です。

統合前は河岸段丘の縁まで大口中学校の敷地でしたが、統合後は拡張され、プールやテニスコートなどが段丘下にできました。「植松の丘」という雰囲気は少し薄れてしまいましたが、敷地内の段差は残ったままです。



植松の丘（大屋敷）

南地域まちづくりかわら版」は、大口町ホームページで見ることができます。

大口町ホームページ

<https://www.town.oguchi.lg.jp/4235.htm>

